



# ATOK for Solaris ユーザーガイド



Sun Microsystems, Inc.  
4150 Network Circle  
Santa Clara, CA 95054  
U.S.A.

Part No: 819-6261-10  
2006年5月

Sun Microsystems, Inc. (以下米国 Sun Microsystems 社とします) は、本書に記述されている製品に含まれる技術に関連する知的財産権を所有します。特に、この知的財産権はひとつかそれ以上の米国における特許、あるいは米国およびその他の国において申請中の特許を含んでいることがあります。それらに限定されるものではありません。

本製品の一部は、カリフォルニア大学からライセンスされている Berkeley BSD システムに基づいていることがあります。UNIX は、X/Open Company, Ltd. が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。フォント技術を含む第三者のソフトウェアは、著作権により保護されており、提供者からライセンスを受けているものです。

U.S. Government Rights Commercial software. Government users are subject to the Sun Microsystems, Inc. standard license agreement and applicable provisions of the FAR and its supplements.

この配布には、第三者によって開発された素材を含んでいることがあります。

本製品に含まれる HG-MinchoL、HG-MinchoL-Sun、HG-PMinchoL-Sun、HG-GothicB、HG-GothicB-Sun、および HG-PGothicB-Sun は、株式会社リコーがリコービマジクス株式会社からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。HeiseiMin-W3H は、株式会社リコーが財団法人日本規格協会からライセンス供与されたタイプフェースマスタをもとに作成されたものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

Sun、Sun Microsystems、Sun のロゴマーク、Solaris のロゴマーク、Java Coffee Cup のロゴマーク、docs.sun.com、JumpStart、Solaris Flash、Java および Solaris は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems 社の商標、登録商標もしくは、サービスマークです。

すべての SPARC 商標は、米国 SPARC International, Inc. のライセンスを受けて使用している同社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。SPARC 商標が付いた製品は、米国 Sun Microsystems 社が開発したアーキテクチャに基づくものです。

OPENLOOK、OpenBoot、JLE は、サン・マイクロシステムズ株式会社の登録商標です。

Wnn は、京都大学、株式会社アステック、オムロン株式会社で共同開発されたソフトウェアです。

Wnn6 は、オムロン株式会社、オムロンソフトウェア株式会社で共同開発されたソフトウェアです。Copyright(C) OMRON Co., Ltd. 1995-2000. All Rights Reserved. Copyright(C) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 1995-2002 All Rights Reserved.

「ATOK for Solaris」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、「ATOK for Solaris」にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。

「ATOK」および「推測変換」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。

「ATOK for Solaris」に添付するフェイスマーク辞書は、株式会社ビレッジセンターの許諾のもと、同社が発行する『インターネット・パソコン通信フェイスマークガイド』に添付のものを使用しています。

「ATOK for Solaris」に含まれる郵便番号辞書(7桁/5桁)は日本郵政公社が公開したデータを元に制作された物です(一部データの加工を行なっています)。

Unicode は、Unicode, Inc. の商標です。

本書で参照されている製品やサービスに関しては、該当する会社または組織に直接お問い合わせください。

OPEN LOOK および Sun Graphical User Interface は、米国 Sun Microsystems 社が自社のユーザおよびライセンス実施権者向けに開発しました。米国 Sun Microsystems 社は、コンピュータ産業用のビジュアルまたはグラフィカル・ユーザインタフェースの概念の研究開発における米国 Xerox 社の先駆者としての成果を認めるものです。米国 Sun Microsystems 社は米国 Xerox 社から Xerox Graphical User Interface の非独占的ライセンスを取得しており、このライセンスは、OPEN LOOK のグラフィカル・ユーザインタフェースを実装するか、またはその他の方法で米国 Sun Microsystems 社との書面によるライセンス契約を遵守する、米国 Sun Microsystems 社のライセンス実施権者にも適用されます。

本書で言及されている製品や含まれている情報は、米国輸出規制法で規制されるものであり、その他の国の輸出入に関する法律の対象となることがあります。核、ミサイル、化学あるいは生物兵器、原子力の海洋輸送手段への使用は、直接および間接を問わず厳しく禁止されています。米国が禁輸の対象としている国や、限定はされませんが、取引禁止顧客や特別指定国民のリストを含む米国輸出排除リストで指定されているものへの輸出および再輸出は厳しく禁止されています。

本書は、「現状のまま」をベースとして提供され、商品性、特定目的への適合性または第三者の権利の非侵害の黙示の保証を含みそれに限定されない、明示的であるか黙示的であるかを問わない、なんらの保証も行われぬものとします。

本製品が、外国為替および外国貿易管理法(外為法)に定められる戦略物資等(貨物または役務)に該当する場合、本製品を輸出または日本国外へ持ち出す際には、サン・マイクロシステムズ株式会社の事前の書面による承諾を得ることのほか、外為法および関連法規に基づく輸出手続き、また場合によっては、米国商務省または米国所轄官庁の許可を得ることが必要です。

# 目次

---

はじめに .....	5
<b>1 基本操作 .....</b>	<b>9</b>
ATOK を使う .....	9
ATOK をオンにする .....	9
ATOK パレットの使い方 .....	10
ATOK メニューの使い方 .....	12
文字入力の流れ .....	13
漢字かな交じり文を入力する .....	13
文節の区切りを直す .....	14
カタカナおよびアルファベットを入力する .....	15
カタカナを入力する .....	15
アルファベットを入力する .....	16
<b>2 いろいろな文字の入力 .....</b>	<b>19</b>
記号を入力する .....	19
読みを入力して記号に変換する .....	19
記号の一覧から選んで入力する .....	22
クリックパレットを使って記号を入力する .....	23
読み方のわからない漢字や難しい文字を入力する .....	25
「托」という文字を入力する .....	25
<b>3 便利な機能 .....</b>	<b>29</b>
いろいろな辞書を使った便利な変換 .....	29
通常の読みでは変換できない名前を入力する .....	29
ビジネス用語など実用的な専門用語を入力する .....	30
郵便番号から住所を入力する .....	30
つづりのわからない英単語を入力する .....	31

顔文字を入力する .....	31
よく使う単語を簡単に入力する .....	34
以前に入力した文字列を短い読みで再入力する .....	34
入力しようとしている文字列を推測して表示する .....	35
よく使う単語を登録する .....	36
ヘルプの使い方 .....	38
<b>A</b> 「ローマ字・かな対応表」と「キー対応表」 .....	41
ローマ字・かな対応表 .....	42
キー対応表 .....	45
索引 .....	47

# はじめに

---

ATOK for Solaris は、日本語の入力および変換を行うソフトウェアです。このマニュアルでは、Solaris 10 オペレーティングシステム上での ATOK for Solaris の基本的な操作方法について説明します。ユーティリティ全般の詳細情報は、ATOK for Solaris のオンラインヘルプで提供します。このマニュアルを読む前に、『Solaris 10 ご使用にあたって』で ATOK for Solaris に関する最新情報をご確認ください。また、ATOK for Solaris の概要とセットアップ方法については、『日本語環境ユーザーズガイド』を参照してください。

日本語入力ソフト ATOK for Solaris は、次のような機能を提供することにより、質の高い文書の作成や入力の効率化を支援します。

- 目的に合った専門辞書を利用した変換
- 省入力や推測変換などの入力支援
- 方言を使った話し言葉や文語の変換
- 入力段階で誤りを指摘する校正支援

また、Windows 版の ATOK と同等の操作で文字を入力および変換できるため、Solaris および Windows 環境を併用している場合も、統一した日本語入力環境を利用できます。

## 対象読者

このマニュアルは、かな漢字変換サーバーとして ATOK for Solaris を使用する方を対象としています。

## 旧バージョンや Windows 版および Macintosh 版の ATOK をお使いの方へ

旧バージョンの ATOK や Windows 版および Macintosh 版の ATOK それぞれで登録した単語や設定は、ATOK for Solaris でも利用できます。

- ATOK12 および ATOK8 をお使いの場合  
ATOK for Solaris の環境移行支援ツールを使って、ATOK12 および ATOK8 で登録していた単語や、<sup>1</sup>入力および変換に関する設定、キーおよびローマ字の設定を、簡単に ATOK for Solaris に引き継ぐことができます。

---

1 ATOK8からは、入力および変換に関する設定を引き継ぐことはできません。

ATOK12 がほかのコンピュータにある場合は、登録した単語を ATOK for Solaris で利用できません。

- Windows 版および Macintosh 版 ATOK をお使いの場合  
Windows 版および Macintosh 版 ATOK で登録した単語は、ATOK for Solaris で利用できません。

環境移行支援ツールの使い方や、登録した単語を ATOK for Solaris で利用する方法については、『日本語環境ユーザーズガイド』を参照してください。

## 内容の紹介

### 第1章

ATOK パレットおよび ATOK メニューの使用法と ATOK を使った基本的な入力方法について説明します。

### 第2章

記号や読みのわからない漢字や難しい文字などのいろいろな文字の入力方法について説明します。

### 第3章

専門用語辞書を使った変換や文字を入力するための便利な機能について説明します。

### 付録A

「ローマ字・かな対応表」と「キー対応表」を示します。

## 関連マニュアル

- 『Solaris 10 ご使用にあたって』
- 『日本語環境ユーザーズガイド』
- ATOK12 オンラインヘルプ

## マニュアル、サポート、およびトレーニング

Sun の Web サイトでは、次のサービスに関する情報も提供しています。

- マニュアル (<http://jp.sun.com/documentation/>)
- サポート (<http://jp.sun.com/support/>)
- トレーニング (<http://jp.sun.com/training/>)

## 表記上の規則

このマニュアルでは、次のような字体や記号を特別な意味を持つものとして使用しません。

表 P-1 表記上の規則

字体または記号	意味	例
<b>AaBbCc123</b>	コマンド名、ファイル名、ディレクトリ名、画面上のコンピュータ出力、コード例を示します。	<code>.login</code> ファイルを編集します。  <code>ls -a</code> を使用してすべてのファイルを表示します。  <code>system%</code>
<b>AaBbCc123</b>	ユーザーが入力する文字を、画面上のコンピュータ出力と区別して示します。	<code>system% su</code>  <code>password:</code>
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	ファイルを削除するには、 <code>rm filename</code> と入力します。
『』	参照する書名を示します。	『コードマネージャ・ユーザズガイド』を参照してください。
「」	参照する章、節、ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	第 5 章「衝突の回避」を参照してください。  この操作ができるのは、「スーパーユーザー」だけです。
\	枠で囲まれたコード例で、テキストがページ行幅を超える場合に、継続を示します。	<code>sun% grep '^#define \  XV_VERSION_STRING'</code>

コード例は次のように表示されます。

- C シェル

```
machine_name% command y|n [filename]
```

- C シェルのスーパーユーザー

```
machine_name# command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェル

```
$ command y|n [filename]
```

- Bourne シェルおよび Korn シェルのスーパーユーザー

**# command y|n** [*filename*]

[ ] は省略可能な項目を示します。上記の例は、*filename* は省略してもよいことを示しています。

| は区切り文字 (セパレータ) です。この文字で分割されている引数のうち 1 つだけを指定します。

キーボードのキー名は英文で、頭文字を大文字で示します (例: Shift キーを押します)。ただし、キーボードによっては Enter キーが Return キーの動作をします。

ダッシュ (-) は 2 つのキーを同時に押すことを示します。たとえば、Ctrl-D は Control キーを押したまま D キーを押すことを意味します。



# ◆ ◆ ◆ 第 1 章

## 基本操作

---

この章では、ATOKパレットおよびATOKメニューの使用方法和ATOKを使った基本的な入力方法について説明しています。

### ATOK を使う

ATOK を使うために知っておく必要のある、基本的な操作やATOKパレットおよびATOKメニューの使い方について説明しています。

### ATOK をオンにする

ATOK を使って文字を入力するときは、まず、ATOK が使えるようになっているか（オンになっているか）確認します。

画面に次のような、ATOKパレットが表示されてれば、オンになっています。



ATOKパレットが表示されていても、ATOKがオフのときは、ひらがなや漢字を入力できません。このときは、日本語 On-OffキーまたはCtrl+スペースキーを押すと、ATOKがオンになり、ひらがなや漢字を入力できるようになります。

---

ヒント-ATOKがオフのときもATOKパレットを表示する設定にしている場合は、ATOKパレットの次の図の部分をクリックしても、ATOKをオンにできます。



## ATOKがオフのときもATOKパレットを表示しておく

初期設定では、ATOKがオフのときには、ATOKパレットは表示されません。

この設定を変更して、ATOKがオフのときにも、ATOKパレットを表示しておくことができます。

1. ATOKパレットの「メニュー」をクリックし、



「基本のメニュー」を選択したあと「プロパティ（環境設定）」を選択します。  
ATOKプロパティが起動します。

2. 「パレット」シートの「日本語入力オフのときもATOKパレットを表示する」をオンにします。
3. 「了解」をクリックします。

## 入力方法（ローマ字入力／カナ入力）を変える

キーボードのアルファベット表記およびカナ表記、どちらに従って文字を入力するかは、ATOKプロパティで変更できます。アルファベット表記に従って入力する方法がローマ字入力、カナ表記に従って入力する方法がカナ入力です。

---

ヒント-カナ入力では日本語キーボードを使用します。英語キーボードを使用する場合は、ローマ字入力のみ利用できます。

---

1. ATOKパレットの「メニュー」をクリックし、



「基本のメニュー」を選択したあと「プロパティ（環境設定）」を選択します。  
ATOKプロパティが起動します。

2. 「入力・変換」シートの「設定項目」で「基本」を選択します。
3. 「入力」の「方法」で、「ローマ字入力」または「カナ入力」を選択します。
4. 「了解」をクリックします。

## ATOKパレットの使い方

ATOKパレットでは、現在入力できる文字の種類など、文字の入力および変換に必要な情報を確認できます。ボタンをクリックして、入力および変換の設定を変えたり、便利なツールを起動したりすることもできます。

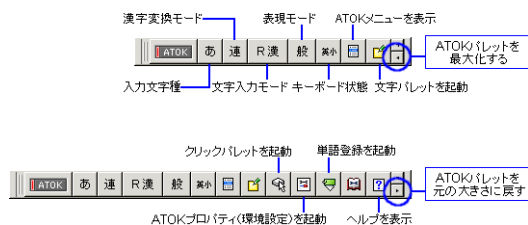
例えば、ATOK パレットが次のように表示されているときは、

あ

入力する文字の種類がひらがなで、次のように表示されているときは、

R 漢

入力方法がローマ字入力です。



ヒント-キーボード状態は、X Window System に Xsun を使用している場合、表示されません。

英小

ATOK パレットの各ボタンの詳しい説明は ATOK ヘルプをご覧ください。

## ATOK パレットを移動する

ATOK パレットの左端のグリップエリアにポインタを合わせます。



ポインタが次の図に変わったらドラッグします。



注-ATOKパレットを使った設定の変更は、編集中の文書にだけ有効です。

文書を切り替えたときや、アプリケーションを終了したときは、無効になります。

引き続き有効にするときは、ATOKプロパティで入力および変換の設定を変更します。ATOKプロパティは、ATOKメニューから「基本のメニュー」を選択したあと「プロパティ（環境設定）」を選択して起動します。

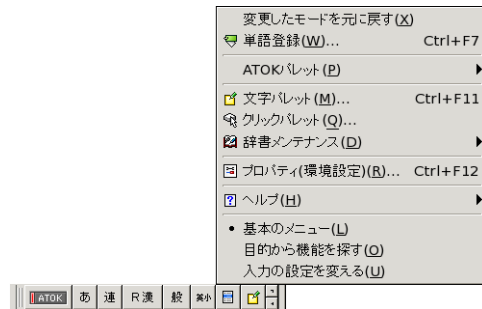
## ATOKメニューの使い方

ATOKメニューを使うと、入力および変換の設定を変えたり、便利なツールを起動したりできます。

ATOKメニューは、ATOKパレットの「メニュー」をクリックすると表示できます。



ヒント-ATOKパレット上で右クリックするか、ATOKをオンにした状態でCtrl+F10キーを押しても、ATOKメニューを表示できます。



ATOKメニューには次の3種類があり、目的や用途に合わせてメニュー自体を切り替えて使うことができます。

- 基本のメニュー
- 目的から機能を探す
- 入力の設定を変える

ATOKメニューから上記のいずれかを選択すると、それぞれのメニューに切り替えられます。

選択しているメニューの前には次の印が付いています。別のメニューに切り替える場合は、切り替えたいメニューを選択します。切り替えたメニューの前に印が付きます。

---

ヒント-このマニュアルやATOKヘルプでは、基本のメニューを使って操作を説明しています。

---

注-ATOKメニューを使った設定の変更は、編集中の文書にだけ有効です。

文書を切り替えたときや、アプリケーションを終了したときは、無効になります。

引き続き有効にするときは、ATOKプロパティで入力および変換の設定を変更します。ATOKプロパティは、ATOKメニューから「基本のメニュー」を選択したあと「プロパティ（環境設定）」を選択して起動します。

---


## 文字入力の流れ

ATOKを使って日本語を入力するときの、基本的な操作について説明しています。

### 漢字かな交じり文を入力する

ひらがな、漢字やカタカナが交じった文を入力するときは、次の流れで操作します。


入力する



スペースキーを押して変換する



Return キーを押して確定する



### 入力中の文字を取り消す

Esc キーを押すと、入力中のすべての文字を削除できます。

入力中の文字のうち、1文字だけ取り消すときは、それぞれ次のキーを押します。

- 反転カーソルの前（左横）の文字を取り消す：Back Space キー

- 反転カーソル上の文字を取り消す：Del キー

## 変換前の状態に戻す

スペースキーを押して変換したあとでまちがいに気が付いたときは、Back Space キーを押すと、変換前の状態に戻ります。

## ほかの候補を選ぶ

スペースキーを押して変換したあと、続けてスペースキーを押します。

ほかに変換候補があれば候補ウィンドウが表示されるので、スペースキーおよび ↑ キーを押してほかの候補を選択し、Return キーを押して確定します。

## 文節の区切りを直す

文節の区切りがまちがえていると、正しいことばに変換されません。

このときは、次の流れで操作して、文節の区切りを直します。

私は、今日は医者に行きました。

↓ キーを押して、正しく変換された文節を確定する

私は、今日は医者に行きました。

← および → キーを押して、文節の区切りを変える

私は、きょうはいしゃにいきました。

スペースキーを押して変換し直す

私は、今日 歯医者に行きました。

Return キーを押して確定する

私は、今日歯医者に行きました。

注- ↓ キーでの確定、← および → キーでの文節の区切り直しができない場合

ATOK プロパティの「キー・ローマ字」シートで MS-IME スタイルを選択しているときは、キーの設定が MS-IME 風になっています。このため、↓ キーでの確定や、← および → キーでの文節の区切り直しできません。このマニュアルや ATOK ヘルプで説明しているキーで操作するときは、ATOK プロパティで設定を変更する必要があります。

## カタカナおよびアルファベットを入力する

ATOK を使ってカタカナおよびアルファベットを入力する方法について説明しています。

### カタカナを入力する

ことばによっては、漢字に変換するのと同じように、スペースキーを押すだけでカタカナに変換できます。

スペースキーを押してもカタカナに変換できないときは、F7 キー（全角カタカナ）または F8 キー（半角カタカナ）を押して変換します。

F7 および F8 キーで変換および確定したことばは、次回からはスペースキーで変換できるようになります。

### スペースキーによる全角のカタカナ変換

「セミナールーム」はスペースキーでも全角のカタカナに変換できます。

せみなーるーむ

F7 キーを押す

セミナールーム

F8 キーを押す

セミナールーム

## キー操作が効かない場合

注-使用する環境またはアプリケーションによっては、ファンクションキーや Shift キーおよび Ctrl キーを含むキー操作が正しく動作しない場合があります。これは、ATOK の機能を実行するためのキーが、デスクトップやアプリケーションのキーと重複している場合に、デスクトップやアプリケーションでの割り当てが優先されるために起こります。

この場合は、デスクトップやアプリケーションで割り当てられているキーを変更すれば、ATOK 側で操作できるようになることがあります。

---

## アルファベットを入力する

F9 キー（全角アルファベット）または F10 キー（半角アルファベット）を押して変換します。F9 および F10 キーで変換および確定したことばは、次回からはスペースキーで変換できるようになります。それぞれ、続けて F9 および F10 キーを押すと、「mike」→「MIKE」→「Mike」の順に、大文字／小文字が変わります。

ヒント-カナ入力でアルファベットを入力するときは、かなキーを押してから入力します。もう一度かなキーを押すと、元のモードに戻ります。

---

ヒント-使用する環境やアプリケーションによって、キー操作が効かない場合は、16 ページの「キー操作が効かない場合」を参照してください。

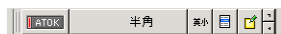
---

## 半角のアルファベット、数字および記号を続けて入力する

1. ATOK パレットの次の図の部分をクリックして「半角入力」を選択します。



半角入力モードになり、ATOK パレットの表示が次のように変わります。



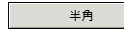


---

ヒント-F10キーまたは変換キーを押しても、半角入力モードにできます。

---

2. 文字を入力します。  
大文字／小文字を変えるときは、Shiftキーを押したまま文字キーを押します。
3. 入力が終わったら、ATOKパレットの次の図の部分をクリックして「漢字入力」を選択します。  
元のモード（ローマ字入力またはカナ入力）に戻ります。



---

ヒント-F10キーを3回押すか、変換キーを押しても、元のモードに戻せます。

---

## つづりのわからない英単語を入力する

英単語の読みを入力してF4キーを押すと、正しい英単語に変換できます。31ページの「つづりのわからない英単語を入力する」を参照してください。

## 一時的にアルファベットを入力するモードに変える

ローマ字入力では、Shiftキーを押したまま文字キーを押すと、一時的にアルファベットを入力するモードになります。文字を確定すると、元のモードに戻ります。

## テンキーから入力した数字および記号をいつも半角にする

キーボード右側にある、電卓のようなキーをテンキーといいます。

テンキーから数字および記号を入力すると、必ず半角で入力されるように設定できます。

1. ATOKパレットの「メニュー」をクリックします。



「基本のメニュー」を選択したあと「プロパティ（環境設定）」を選択します。

ATOKプロパティが起動します。

2. 「入力・変換」シートの「設定項目」で「入力補助」を選択します。
3. 「テンキーからの入力を必ず半角にする」をオンにします。

---

ヒント-テンキーから入力すると同時に確定したい場合は、「確定文字で入力する」もオンにします。

---

4. 「了解」をクリックします。

## ◆◆◆ 第 2 章

# いろいろな文字の入力

---

この章では、記号や読みのわからない漢字や難しい文字などのいろいろな文字の入力方法について説明しています。

## 記号を入力する

◎△◆などの記号を入力するには、読みを入力して変換する方法と、文字パレットやクリックパレットで記号の一覧から選択して入力する方法があります。

## 読みを入力して記号に変換する

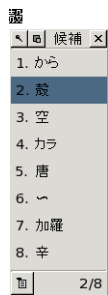
記号の読みを「から」、「ゆうびん」、「さんかく」などを入力し、スペースキーを押して変換すると、「～」、「〒」、「△」などの記号が入力できます。

から

スペースキーを押して変換

から

スペースキーを押して候補ウィンドウを表示



## 記号の読み

次のような読みで記号に変換できます。このほかの読みおよび記号については、ATOK ヘルプをご覧ください。

読み	記号
まる	○ ● ◎
さんかく	△ ▲ ▽ ▼
しかく	□ ■ ◇ ◆
ひしがた	◇ ◆
ほし	☆ ★
ゆうびん	〒
かっこ	「」 『』 【】 『』 "" () [] {} <> 《》
やじるし	→ ← ↑ ↓
てん	、 , ……
どる	\$
ぱーせんと	%
ふとうごう	≠ < > ≤ ≥ ≪ ≫
あるふあ	A α

## 入力した文字が正しく表示されない場合

注-使用する環境またはアプリケーションによっては、入力した文字が正しく表示されない場合があります。この場合は、次のことを確認します。

- 入力した文字に適切なフォントが設定されているか  
ほかのフォントを設定するなどしてみます。
- 使用しているロケールおよびアプリケーションで扱える文字か  
ロケールを切り替えたり、ほかのアプリケーションで入力してみたりします。

ヒント-ロケールの切り替え方法については、OSのマニュアルおよびヘルプをご覧ください。

## 独仏文字や発音記号を入力する

詳細については、ATOKヘルプの「入力と変換」から「記号などの入力」の「ドイツ語・フランス語・発音記号」を参照してください。

## よく似た記号を入力して変換する

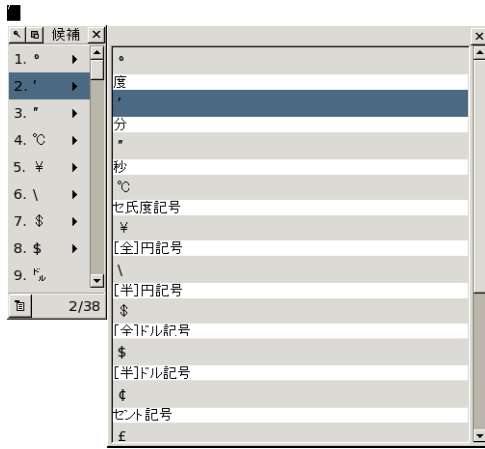
キーボード上の記号を入力してスペースキーを押すと、似ている記号に変換できます。例えば、「<」は「」」「<<」に、「=」は「」」「≡」「≒」に、それぞれ変換できます。

## 記号辞書を使って記号を入力する

記号の読みを入力してF4キーを押すと、いろいろな記号が登録された記号辞書を使って変換できます。記号辞書を使うと、記号の意味や全角/半角を確認しながら記号を入力できます。



F4キーを2回押して候補ウィンドウを表示



## 記号の一覧から選んで入力する

文字パレットでは、いろいろな記号が種類ごとに分類されているので、目的の記号を簡単に見つけることができます。

1. ATOKパレットの「文字パレット」をクリックします。



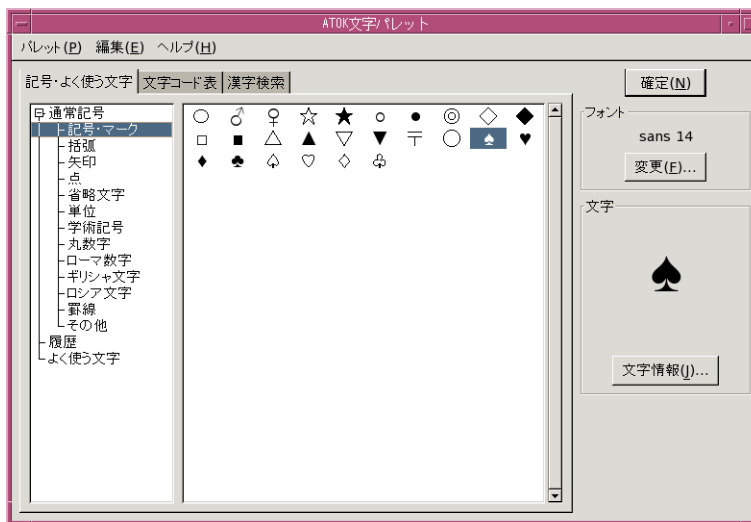
文字パレットが起動します。

---

ヒント-Ctrl+F11キーを押しても、文字パレットを起動できます。ただし、使用する環境やアプリケーションによって、キー操作が効かない場合は、[16 ページの「キー操作が効かない場合」](#)を参照してください。

---

2. 「記号・よく使う文字」シートの左側で、「通常記号」の「記号・マーク」、「括弧」、「矢印」など、入力したい記号の種類を選択します。
3. 右側の一覧で、入力したい記号を選択します。



4. 「確定」をクリックします。  
選択した記号がカーソル位置に入力されます。

注- 「確定」をクリックしても正しく入力できない場合

クリップボード経由で入力すると正しく入力できることがあります。

クリップボード経由で入力するには、文字パレット上で入力したい文字や記号を選択して「編集-コピー」を選択し、アプリケーションに切り替えて貼り付けを実行します。

文字パレットの「フォント」で設定した文字のフォントは、実際に入力する文字のフォントには反映されません。

文字パレットから入力した文字が正しく表示されない場合は、21 ページの「入力した文字が正しく表示されない場合」を参照してください。

## クリックパレットを使って記号を入力する

クリックパレットを使っても、記号を入力できます。

1. ATOKパレットの「メニュー」をクリックします。



「基本のメニュー」を選択したあと「クリックパレット」を選択します。クリックパ





## 読み方のわからない漢字や難しい文字を入力する

入力したい漢字の読みがわからないときや、候補ウィンドウに表示されない特殊な漢字を入力するときは、文字パレットを使って部首や画数から目的の漢字を探して入力できます。部首の名前がわからなくても、一覧から目的の部首を選んだりして漢字を探せます。

ここでは、部首の読みから漢字を探す方法を紹介します。

### 「托」という文字を入力する

1. ATOKパレットの「文字パレット」をクリックします。



文字パレットが起動します。

---

ヒント-Ctrl+F11 キーを押しても、文字パレットを起動できます。ただし、使用する環境やアプリケーションによって、キー操作が効かない場合は、[16 ページの「キー操作が効かない場合」](#)を参照してください。

---

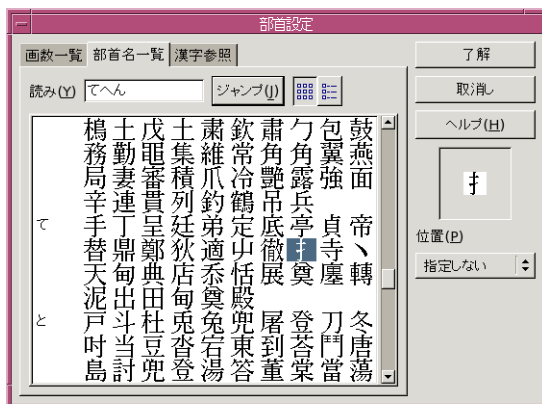
2. 「漢字検索」シートを選択し、「設定」をクリックします。  
「部首設定」ダイアログボックスが表示されます。
3. 「部首名一覧」シートを選択します。
4. ATOK をオンにして「読み」に「てへん」と入力し、「ジャンプ」をクリックします。

てへんが選択されます。

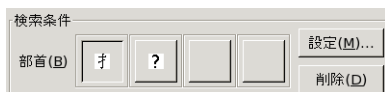
---

ヒント-漢字検索の検索条件として使われる「部首」とは、漢字を構成する各部分のことです。例えば、「米」（こめ）と「女」（おんな）を設定すると、「数」「楼」などの漢字を検索できます。

---

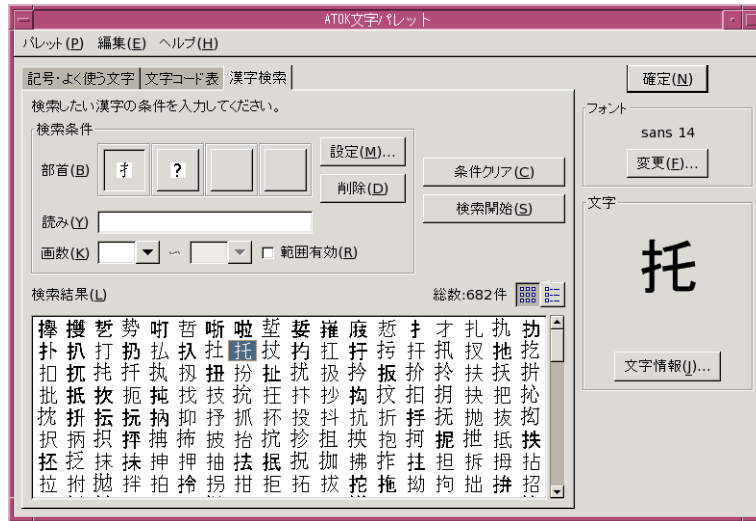


5. 「了解」をクリックします。  
文字パレットの「漢字検索」シートに戻ります。
6. ほかの部首を条件に追加する場合は、「部首」の「?」をクリックして「部首設定」ダイアログボックスを表示し、操作3~5を繰り返します。



ヒント-条件に設定した部首を削除するには、文字パレットの「漢字検索」シート  
の「部首」で、削除したい部首をクリックしてから「削除」をクリックします。

7. 「検索開始」をクリックします。  
「検索結果」に「てへん」の部首を持つ漢字が表示されます。



- 「検索結果」で「托」を選択し、「確定」をクリックします。  
カーソル位置に「托」が入力されます。

注-文字パレットの「フォント」で設定した文字のフォントは、実際に入力する文字のフォントには反映されません。

文字パレットから入力した文字が正しく表示されない場合は、21 ページの「入力した文字が正しく表示されない場合」を参照してください。

## 部首の位置を指定して検索結果を絞り込む

「部首設定」ダイアログボックスの「位置」で部首の位置を指定すると、検索結果をさらに絞り込むことができます。

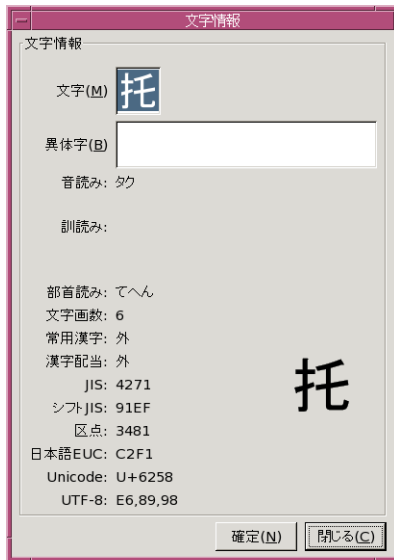
例えば、「魚」を設定しただけでは「鮎」「鮮」なども検索結果に表示されますが、「位置」で「右」を設定すると、「漁」「櫓」「艦」など、右側に「魚」を持つ漢字だけが表示されます。

## 漢字の読みや異体字を調べる

文字パレットの「漢字検索」シートの「検索結果」で漢字を選択し、「文字情報」をクリックします。

漢字の読み（音訓）、画数、部首および異体字などの情報が表示されます。

ヒント-異体字とは、意味と読みが同じで形が異なる漢字のことです。（例：国、圀、國、万および萬など）



## 部首の探し方

「部首設定」ダイアログボックスでは、いろいろな方法で目的の部首を探すことができます。

シート名	説明
画数一覧	部首を画数順に一覧表示します。 「画数」に数字を入力して「ジャンプ」をクリックすると、該当する画数の部首が表示されます。
部首名一覧	部首の名称を50音順に一覧表示します。 「読み」に部首名を入力して「ジャンプ」をクリックすると、該当する名称の部首が表示されます。
漢字参照	探したい部首が含まれている漢字から、部首を検索できます。 「漢字」に漢字を入力して「検索」をクリックすると、その漢字に含まれる部首が表示されます。

# ◆ ◆ ◆ 第 3 章

## 便利な機能

---

この章では、専門用語辞書を使った変換や文字を入力するための便利な機能について説明しています。

### いろいろな辞書を使った便利な変換

F2、F3 および F4 キーを押すと、専門用語辞書を使って便利な変換ができます。

F2 キーで変換および確定したことばは、次回からはスペースキーで変換できるようになります。

### 通常の読みでは変換できない名前を入力する

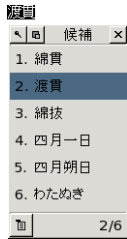
読みを入力して F2 キーを押すと、通常の読みでは変換できない名前を、人名辞書を使って変換できます。

わたぬぎ

F2 キーを押して変換する

綿貫

F2 キーを押して候補ウィンドウを表示する



## ビジネス用語など実用的な専門用語を入力する

読みを入力して F2 キーを押すと、ビジネスやコンピュータ、インターネット関連でよく使われる専門用語をスムーズに変換できます。

ればれっじこうか

F2 キーを押して変換する

レバレッジ効果

## 郵便番号から住所を入力する

郵便番号を入力して F3 キーを押すと、郵便番号辞書を使って、該当する住所に変換できます。

入力する郵便番号は、7 桁、5 桁および 3 桁のどれでもかまいません。7 桁および 5 桁の郵便番号を入力するときは、3 桁目を入力したあとに－（マイナス記号）を入力します。

107-0061

F3 キーを押して変換する

東京都港区北青山

F3 キーを押して都道府県名を省略した住所に変換する

港区北青山

## つづりのわからない英単語を入力する

英単語の読みを入力してF4キーを押すと、カタカナ語英語辞書を使って、正しい英単語に変換できます。

続けてF4キーを押すと、次の例では、「governance」→「Governance」→「GOVERNANCE」の順に、大文字／小文字が変わります。

がりばなんす

F4キーを押して変換する

governance

F4キーを押して候補ウィンドウを表示する



## 顔文字を入力する

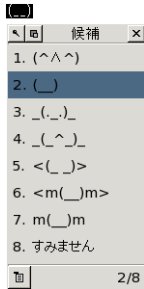
読みを入力してF4キーを押すと、フェイスマーク辞書：インターネット版を使って、いろいろな顔文字に変換できます。

すみません

F4キーを押して変換する



F4 キーを押して候補ウィンドウを表示する



---

注-F2、F3およびF4キーを押しても変換できない、または「辞書ファイルが設定されていません」というメッセージが表示される場合

次のように操作して、該当する辞書が辞書セットに正しく設定されているか確認します。

1. ATOKパレットの「メニュー」をクリックします。



「基本のメニュー」を選択したあと「プロパティ（環境設定）」を選択します。  
ATOKプロパティが起動します。

2. 「辞書・学習」シートの右上の「辞書セット一覧を表示」をオンにします。
  3. 「辞書セット一覧」で該当する辞書セットを選択します。
  4. 該当する辞書が表示されているか、オンになっているか確認します。
    - 辞書が表示されていない場合  
「追加」をクリックします。  
「辞書の追加」ダイアログボックスが表示されるので、一覧で辞書を選択して「追加」をクリックします。
    - 辞書が表示されていてもオフになっている場合  
オンにします。
  5. 「了解」をクリックします。
-



### 第三・第四水準漢字辞書を使う

第三・第四水準漢字辞書にも人名に使われる漢字が登録されており、これを使って漢字を入力することもできます。

### F4 キーで記号に変換する

F4 キーを使うと、ここで紹介している英単語、顔文字のほか、記号に変換することもできます。

21 ページの「記号辞書を使って記号を入力する」を参照してください。

### 辞書セットと辞書

初期設定では、各辞書セットにそれぞれ次の辞書が設定されており、\*の付いた辞書が使用できる状態になっています。

スペースキーとF2 キーのどちらでも変換できるようにするため、同じ辞書が複数の辞書セットに設定されている場合があります。

---

ヒント- ( ) 内のキーを押すと、各辞書セットを使って変換できます。

---

#### 標準辞書セット (スペースキー)

- 標準辞書\*
- トレンド辞書\*
- 人名辞書
- 第三・第四水準漢字辞書

#### 専門用語辞書セット (F2 キー)

- 標準辞書\*
- トレンド辞書\*
- 経済・ビジネス用語辞書\*
- コンピュータ・インターネット用語辞書\*
- 人名辞書\*
- 単漢字辞書\*

#### 郵便番号辞書セット (F3 キー)

- 郵便番号辞書\*
- 郵便番号辞書：事業所

#### アクセサリ辞書セット (F4 キー)

- カタカナ語英語辞書\*
- 記号辞書\*
- フェイスマーク辞書：インターネット版\*

- フェイスマーク辞書

## よく使う単語を簡単に入力する

以前に入力した文字列を短い読みで入力したり、よく使う単語を登録したりして、よりスムーズに文字を入力できるようにします。

### 以前に入力した文字列を短い読みで再入力する

以前に入力した文字列の確定履歴を利用して、その先頭の読みだけを入力して変換できます。

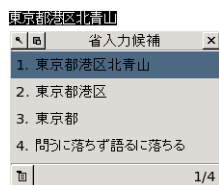
同じ文字列を繰り返し入力するときに、より少ない読みで簡単に入力でき、便利です。

以前に入力した文字列のほか、慣用句などの入力にも使えます。

「東京都港区北青山」と確定したあとで「とう」と入力した場合

とう

Tab キーを押して、以前に入力した文字列を省入力候補として表示する



---

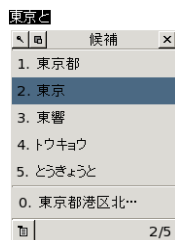
ヒント-上記の例では、「とう」で始まる慣用句も表示されています。

---

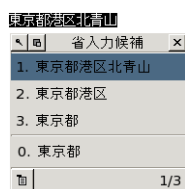
### 通常の変換中に、候補ウィンドウに省入力候補を表示する

スペースキーを押して変換しているとき、候補ウィンドウに0番が表示されていると、0番を選択して省入力候補に切り替えられます。

通常の変換候補を表示するよう戻したいときは、もう一度、0番を選択します。



0 番を選択 ↓ ↑ 0 番を選択



## 不要になった省入力候補を削除する

候補ウィンドウに省入力候補が表示されているときに、削除したい候補に反転カーソルを合わせ、Ctrl+Del キーを押します。

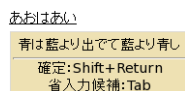
削除を確認するメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

## 入力しようとしている文字列を推測して表示する

繰り返し入力している単語や文章は、読みの途中まで入力すると、自動的に推測変換候補として表示されます。

長い単語や文章の読みをすべて入力しなくても変換できるので、入力の手間を省くことができます。

以前に入力した文字列のほか、慣用句などの入力にも使えます。また、郵便番号を入力すると、住所が推測変換候補として表示されます。



Shift+Return キーを押して確定する

青は藍より出でて藍より青し

---

注-使用する環境またはアプリケーションによっては、推測変換候補が、入力した文字からずれて表示される場合があります。

---

## 推測変換候補が表示されやすいようにする

1. ATOKパレットの「メニュー」をクリックします。



「基本のメニュー」を選択したあと、「プロパティ（環境設定）」を選択します。  
ATOKプロパティが起動します。

2. 「入力・変換」シートの「設定項目」で「省入力・推測変換」を選択します。
3. 「推測変換の表示頻度」を「中」または「高」に設定します。
4. 「了解」をクリックします。

## よく使う単語を登録する

よく使う単語やすぐに変換できない単語は、辞書に登録しておくとう便利です。

長い単語を短い読みで登録しておくとう、入力の手間を省くことができます。

ここでは、「株式会社ジャストシステム」という単語を「じゃすと」という読みで登録する方法を紹介します。

じゃすと

スペースキーを押して変換する

株式会社ジャストシステム

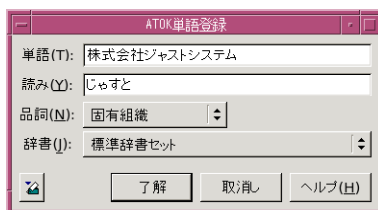
1. ATOKパレットの「メニュー」をクリックします。



「基本のメニュー」を選択したあと「単語登録」を選択します。単語登録が起動します。

ヒント-Ctrl+F7キーを押しても、単語登録を起動できます。ただし、使用する環境やアプリケーションによって、キー操作が効かない場合は、16ページの「キー操作が効かない場合」を参照してください。

2. 登録したい単語と読みを入力します。  
ここでは「単語」に「株式会社ジャストシステム」、「読み」に「じゃすと」と入力します。
3. 単語の品詞と、登録先となる辞書を選択します。  
ここでは「品詞」で「固有組織」を、「辞書」で「標準辞書セット」を選択します。



4. 「了解」をクリックします。  
「じゃすと」と入力してスペースキーを押すと、「株式会社ジャストシステム」に変換されるようになります。

## 登録した単語を削除する

不要になった単語は、キー操作で簡単に削除できます。

1. 削除したい単語の読みを入力します。
2. スペースキーを押して、削除したい単語に変換します。  
変換候補が複数ある場合は、続けてスペースキーを押して候補ウィンドウを表示し、削除したい単語に反転カーソルを合わせます。
3. Ctrl+Del キーを押します。
4. 削除を確認するメッセージが表示されるので、「はい」をクリックします。

## 登録した単語のバックアップをとる

登録した単語は、ユーザー辞書に書き込まれます。

バックアップをとるには、ユーザーディレクトリにあるユーザー辞書（標準辞書セットの場合は atok17u1.dic）をほかのハードディスクなどにコピーします。

バックアップを復元するには、コピーしたユーザー辞書を、ユーザーディレクトリに上書きコピーします。

---

ヒント-ただし、この方法でバックアップおよび復元すると、バックアップをとったあとに登録した単語の情報などが削除されます。

---

ヒント-ユーザーディレクトリは、\$HOME/.iiim/le/atokx2/users/<ユーザー名>/です。  
\$HOME は、各ユーザーのホームディレクトリです。

---

ユーザー辞書のファイル名は、次の方法で確認できます。

1. ATOK パレットの「メニュー」をクリックします。



「基本のメニュー」を選択したあと「プロパティ（環境設定）」を選択します。  
ATOK プロパティが起動します。

2. 「辞書・学習」シートの右上の「辞書セット一覧を表示」をオンにします。
3. 「辞書セット一覧」で、ユーザー辞書のバックアップをとる辞書セットを選択します。
4. 右側の「学習」の「詳細設定」をクリックします。
5. 「ユーザー辞書設定」でユーザー辞書のファイル名を確認します。

このほか、辞書に登録した単語の一覧をテキストファイル（単語ファイル）に保存して、バックアップをとることもできます。詳しくは、ATOK ヘルプをご覧ください。

## ヘルプの使い方

マニュアルで紹介していない機能や、機能の詳しい説明は、ヘルプで見ることができます。

ヘルプは次の方法で表示できます。

1. ATOK パレットの「メニュー」をクリックします。



「基本のメニュー」を選択したあと「ヘルプ - ATOK のヘルプ」を選択します。Web

ブラウザが起動して、ヘルプのトップページが表示されます。

2. ヘルプ画面上部で見たい項目をクリックします。  
ヘルプ画面左側に、さらに詳しい項目が表示されます。
3. ヘルプ画面左側で見たい項目をクリックして、ヘルプを参照します。

例えば、JISコード表の記号を参照したい場合は、ヘルプ画面上部の「入力と変換」をクリックして、ヘルプ画面左側で「記号などの入力」の「JISコード表の記号」をクリックすると、該当するヘルプを見ることができます。





◆ ◆ ◆

付録 A

A

## 「ローマ字・かな対応表」と「キー対応表」

---

## ローマ字・かな対応表

あ	あ	い	う	え	お
	a	i	u	e	o
	あ	い	う	え	お
	la	li	lu	le	lo
か	xa	xi	xu	xe	xo
	か	き	く	け	こ
	ka	ki	ku	ke	ko
	きゃ	きい	きゆ	きえ	きよ
さ	kya	kyi	kyu	kye	kyo
	くあ				
	kwa				
	さ	し	す	せ	そ
さ	sa	si	su	se	so
		shi			
	しゃ	しい	しゆ	しえ	しよ
	sya	syi	syu	sye	syo
た	sha		shu	she	sho
	た	ち	つ	て	と
	ta	ti	tu	te	to
		chi	tsu		
た			つ		
			ltu ltsu		
			xtu xtsu		
	ちや	ちい	ちゆ	ちえ	ちよ
た	tya	tyi	tyu	tye	tyo
	cya	cyi	cyu	cye	cyo

	cha		chu	che	cho
	つあ	つい		つえ	つお
	tsa	tsi		tse	tso
	てや	てい	てゆ	てえ	てよ
	tha	thi	thu	the	tho
			とう		
			twu		
な	な	に	ぬ	ね	の
	na	ni	nu	ne	no
	にや	にい	にゆ	にえ	によ
	nya	nyi	nyu	nye	nyo
は	は	ひ	ふ	へ	ほ
	ha	hi	hu	he	ho
			fu		
	ひや	ひい	ひゆ	ひえ	ひよ
	hya	hyi	hyu	hye	hyo
	ふあ	ふい		ふえ	ふお
	fa	fi		fe	fo
	ふや	ふい	ふゆ	ふえ	ふよ
	fya	fyi	fyu	fye	fyo
ま	ま	み	む	め	も
	ma	mi	mu	me	mo
	みや	みい	みゆ	みえ	みよ
	mya	myi	myu	mye	myo
や	や	い	ゆ	え	よ
	ya	yi	yu	ye	yo
	や	い	ゆ	え	よ
	lya	lyi	lyu	lye	lyo

	xya	xyi	xyu	xye	xyo
ら	ら	り	る	れ	ろ
	ra	ri	ru	re	ro
	りゃ	りい	りゅ	りえ	りよ
	rya	ryi	ryu	rye	ryo
わ	わ	うい	う	うえ	を
	wa	wi	wu	we	wo
	わ	ゐ		ゑ	
	lwa	wyi		wye	
	xwa				
ん <sup>1</sup>	ん	ん			
	nn	n'			
が	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	ga	gi	gu	ge	go
	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
	gya	gyi	gyu	gye	gyo
	ぐあ				
	gwa				

1. 「ん」は、nに続いて子音(k、t、p、s、z、j、dなど)がくれば「ん」になります。

ざ	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	za	zi	zu	ze	zo
		ji			
	じゃ	じい	じゅ	じえ	じよ
	jya	jyi	jyu	jye	jyo
	zya	zyi	zyu	zye	zyo
	ja		ju	je	jo
だ	だ	ぢ	づ	で	ど
	da	di	du	de	do

	ぢゃ	ぢい	ぢゅ	ぢえ	ぢよ
	dya	dyi	dyu	dye	dyo
	でゃ	でい	でゅ	でえ	でよ
	dha	dhi	dhu	dhe	dho
			どう		
			dwu		
ば	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	ba	bi	bu	be	bo
	びゃ	びい	びゅ	びえ	びよ
	bya	byi	byu	bye	byo
ぱ	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	pa	pi	pu	pe	po
	ぴゃ	ぴい	ぴゅ	ぴえ	ぴよ
	pya	pyi	pyu	pye	pyo
うゝ	うゝ あ	うゝ い	うゝ	うゝ え	うゝ お
	va	vi	vu	ve	vo
カ/ケ	カ	ケ			
	lka	lke			
	xka	xke			
っ	っ(単独)で入力するとき				
	ltu ltsu				
	xtu xtsu				
	子音を2つ続ける(例: だった... datta)				

## キー対応表

このマニュアルのキー表記は、日本語 Type 6 キーボードを基本としています。

109/106 日本語キーボードをお使いの場合は、次のキー対応表を使って、該当するキーボードのキーを確認してください。

---

ヒント-お使いのキーボードの種類によっては、キー表記が異なる場合があります。

---

日本語 Type (マニュアルの表記)	109 / 106 日本語
Return	Enter
Back Space	Backspace
Del	Delete
Caps Lock	Caps Lock 英数
確定	無変換
かな	カタカナひらがな
日本語 On-Off	半角 / 全角

# 索引

---

## A

ATOK12, 5-6  
ATOK8, 5-6  
ATOK パレット, 10-12  
ATOK メニュー, 12-13

## M

Machintosh 版の ATOK, 5-6  
MS-IME, 14-15

## W

Windows 版の ATOK, 5-6

## あ

アルファベットの入力, 16-18

## い

異体字, 27-28

## え

英単語の入力, 31

## か

顔文字の入力, 24, 31-34  
カタカナ語英語辞書, 31, 33-34  
カタカナの入力, 15-16  
カナ入力, 10  
漢字かな交じり文の入力, 13-14  
漢字検索, 25-28  
漢字の入力, 13-14, 25-28, 29-30  
漢字変換モード, 10-12  
慣用句の入力, 34-35, 35-36

## き

キーボード状態, 10-12  
記号辞書, 21-22, 33-34  
記号の入力, 16-17, 19-22, 22-23, 23-24  
基本のメニュー, 12-13  
旧バージョン, 5-6

## く

クリックパレット, 23-24

## け

経済・ビジネス用語辞書, 30, 33-34

## こ

コンピュータ・インターネット用語辞書, 30, 33-34

## し

時刻の入力, 24

辞書, 29-34

辞書セット, 33-34

住所の入力, 30-31, 35-36

省入力, 34-35, 35

人名辞書, 29-30

人名辞典, 33-34

トラブル - キー操作, 15-16, 31-34

トラブル - 操作, 14-15

トラブル - 表示, 20-21, 35-36

トラブル - 変換, 14-15, 31-34

取り消し, 13-14, 14

トレンド辞書, 30, 33-34

## に

入力, 9-10, 13-14

入力の設定を変える (ATOK メニュー), 12-13

入力文字種, 10-12

## す

推測変換, 35-36, 36

数字の入力, 16-17, 17-18

## は

発音記号の入力, 21

## せ

専門用語辞書, 29-34

専門用語の入力, 30

## ひ

ビジネス用語, 30

日付の入力, 24

表現モード, 10-12

標準辞書, 33-34

## た

第三・第四水準漢字辞書, 33

第三・第四水準漢字の入力, 33

単漢字辞書, 33-34

単語登録, 36-38

## ふ

フェイスマーク辞書, 31-34

部首, 27-28

## て

テンキー, 17-18

## へ

ヘルプ, 38-39

変換, 13-14, 14

## と

登録単語の削除, 37

登録単語のバックアップ, 37-38

独仏文字の入力, 21

トラブル - 確定, 14-15, 22-23

## も

目的から機能を探す (ATOK メニュー), 12-13

文字入力モード, 10, 12-13

文字パレット, 22-23, 25-28



## ゆ

郵便番号, 30-31, 33-34, 35-36

郵便番号辞書, 30-31

## ろ

ローマ字入力, 10

